

の う じ でん そ う

農時電送

H30 水稻 No.⑥

概況

8月に入り出穂を迎えています。6月中旬～7月上旬の天候不順で生育遅延となりましたが、7月中旬以降の高温続きで出穂期は“ほぼ平年並”です。

これから出穂・開花期間となりますので、順調な開花を促すよう適切な水管理に努めて下さい。（開花適温は最高気温24℃以上とされています） また、病害虫防除も本番です。いもち病の防除徹底とカメムシ類の防除も効果的に行いましょう。

<生育ステージの流れと管理の日安>

※ 成苗：ななつぼし（ゆめぴりか）を想定しています。

| | 7月末～8月上旬 | 中旬（お盆） | 下旬 | 8月末～9月上旬 |
|-----------|---|--------|---------------------------|----------|
| | 出穂期 始 期 揃 開花・受精 | 乳熟期 | 黄化始 穂屈み (出穂後25日頃) ↓ | 黄熟期 |
| 水深 | 極浅水→・・・間断かんがい・溝切り・落水目安・・・（適宜走り水） | | | |
| 防除 | いもち病 カメムシ類（カメシ臨機） （出穂期から7～10日後） | | | |

（各々、品種差（3～5日）や苗質差（3～5日）などを考慮して対応下さい。）

BLASTAM情報（7月）・・・葉いもち病感染好適条件：●は、6月末～7月初と7月3～4半旬頃に頻発し、アメダス今金データで6回出ました。最終：7/17-18

穂いもち病防除 ⇒ 重点防除は出穂期に！

カメムシ類の防除について・・・各自予察に努め、適期防除を行いましょ。 （本年度、カメムシトラップによる発生予察は実施していません）

予察と要防除水準 ⇒ 補虫網（20回振）：ななつぼし等は2頭以上。

効率・効果的防除 ⇒ 出穂期後7～10日の防除を徹底する。
※各JA防除ガイドを参考に農薬選定し、使用基準を遵守すること。

◎カメムシ類（主にアカヒゲホソミドリカスミカメ）は、出穂の度合いが高まるほど水田に侵入してきます。周辺の牧草地、小麦・エン麦畑、畦畔・農道のイネ科雑草等には十分注意しましょう！・・・尚、高温で雨が無いほど活動が活発で被害も多くなり、低温や大雨では減少しますので、今後の気象動向にもご留意下さい。

（本年）7月後半から雨が無く、気温も高く推移していますので「カメムシ要注意」！

☆農薬の安全使用と農作業事故防止の徹底！